
「術後再建腸管症例における悪性胆道閉塞に対する内視鏡治療の多施設共同後ろ向き研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【東京女子医科大学倫理審査委員会】の承認を得て、総合医療センター病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年4月～2024年3月までの間に、埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科にて悪性胆道閉塞と診断され、内視鏡治療を受けられた方の内、外科的治療で消化管再建術の既往歴がある方。

2. 研究の目的

術後再建腸管症例の悪性胆道閉塞に対する内視鏡的胆道ドレナージにおいて、超音波およびバルーン内視鏡を用いたドレナージの有効性・安全性を比較検討することを目的とした共同研究です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年3月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる情報について

1. 情報の内容

診療情報等：診断名、年齢、性別、治療日、原発腫瘍詳細、内視鏡治療詳細、手技的/臨床的成功、早期偶発症

※この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学総合医療センター】において、研究責任者である松原三郎が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 情報の取得方法

悪性胆道閉塞と診断され、内視鏡治療を受けられた方の内、外科的治療で消化管再建術の既往歴がある方の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 情報を利用する者（研究実施機関）

- ・東京女子医科大学消化器内科 中井陽介（研究代表者）
- ・がん研究会有明病院 肝胆膵内科 佐々木隆
- ・東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科 伊藤謙
- ・慶應義塾大学医学部 消化器内科 岩崎栄典
- ・国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 脇岡範
- ・埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 松原三郎
- ・東京医科大学病院 消化器内科 平川徳之
- ・埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 良沢昭銘
- ・横浜市立大学 内視鏡センター 長谷川翔
- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 伊佐山浩通
- ・聖マリアンナ医科大学病院 消化器内科 中原一有
- ・東京大学医学部附属病院 消化器内科 高原楠晃
- ・帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 土井晋平
- ・東京医科大学八王子医療センター 消化器内科 北村勝哉
- ・北里大学医学部 消化器内科学 岩井知久
- ・日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 木暮宏史

4. 情報の管理責任者

＜提供元機関＞【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮好文

＜提供先機関＞【東京女子医科大学】

5. 情報の提供方法等について

- ・パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 松原三郎

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3564（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：術後再建腸管症例における悪性胆道閉塞に対する内視鏡治療の多施設共同後ろ向き研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 松原三郎